

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科 目 区 分		授業の方法	講義演習
科 目 名	老年看護学概論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対 象 学 年	2年		学期及び曜時限	後期	教室名	2年生教室・実習室
担 当 教 員	高嶋 里枝	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
老年期は加齢に伴い健康状態や生活機能の低下、生活する場所や社会的役割の変化を体験する。ライフサイクルのなかで、人生の最終ステージを迎え、生きてきた環境・条件 の相違から個人差が大きくなる。本授業では人間的成熟・統合に向かって発達する老年期にある対象の特徴や、取り巻く社会的環境について学ぶ。個々の可能性を引き出し、その人らしい生活が送れるように援助・支援するための老年看護の在り方を学ぶ。						
《成績評価の方法と基準》						
出席状況、課題提出状況、筆記試験での総合的評価。 課題提出20%、筆記試験80%。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
①専門分野Ⅱ 老年看護学(医学書院) ②専門分野Ⅱ 老年看護 病態・疾患(医学書院)						
《授業外における学習方法》						
シラバスに沿って次回授業についての予習を行い授業に臨む。授業後は配布資料・ワークシートや教科書での復習を行う。						
《履修に当たっての留意点》						
未知なる老いを学ぶにあたり、身近な高齢者とコミュニケーションをとったり、高齢者の疑似体験をすることで高齢者の気持ちを常に思考しながら授業に臨みましょう。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	老いの意味を考え、胃鬼向き合う態度を養う 老年期の発達課題や理論、老化の特徴を知り、高齢者を理解する		テキスト② 配布資料	事前課題:テキスト第Ⅰ章. 1. 2の範囲を読んでおく。 事後課題:授業内容を復習し理解を深める
		各コマにおける授業予定	老いの意味、老年期の理解を深める			
第2回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	高齢者を取り巻く社会制度の成立背景とその目的・役割を理解できる		テキスト② 配布資料	事前課題:テキスト第Ⅰ章. 3の範囲を読み理解を進めておく。 事後課題:授業内容を復習し理解を深める
		各コマにおける授業予定	高齢者を取り巻く社会制度について学ぶ			
第3回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	高齢者に対する差別、虐待などの実態を知り、高齢者の権利を擁護することの重要性や、高齢者の尊厳について理解する。 高齢者における倫理的課題、高齢者の権利の擁護に関する法的整備や社会制度を理解する		テキスト② 配布資料	事前課題:テキスト第Ⅰ章. 4の範囲を読み理解を進めておく。 事後課題:授業内容を復習し理解を深める
		各コマにおける授業予定	高齢者の権利擁護について学ぶ			
第4回	講義演習形式	授業を通じての到達目標	高齢者の特性を知り、高齢者を理解する視点を学ぶ 高齢者の特徴を多面的にとらえることで、高齢者の多様性や複雑性を理解する		テキスト② 配布資料	事前課題:テキスト第Ⅲ章. の範囲を読み理解を進めておく。 事後課題:授業内容を復習し理解を深める
		各コマにおける授業予定	老年看護の対象となる人々の特徴について学ぶ①			
第5回	演習実習形式	授業を通じての到達目標	高齢者のさまざまな特徴の把握方法を知り、実践における対象理解に活用できる		テキスト② 配布資料	事前課題:テキスト第Ⅳ章. の範囲を読み理解を進めておく。 事後課題:授業内容を復習し理解を深める
		各コマにおける授業予定	老年看護の対象となる人々の特徴について学ぶ②			
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容

第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	高齢者の理解、高齢者の看護を行う上で有効な、さまざまな理論やアプローチがあることを理解する	テキスト② 配布資料	事前課題:テキスト第IV章. の範囲を読み理解を進めておく。 事後課題:授業内容を復習し理解を深める
		各コマにおける授業予定	老年看護に活用できる理論・アプローチを学ぶ		
第7回	演習 実習形式	授業を通じての到達目標	老いること、死ぬことの意味を見つめ、どのように向き合い、備えていけばよいかを考えられる 高齢者の「豊かな死」を理解し、その創出を支援する方法を理解する	テキスト② 配布資料	事前課題:テキスト第V章. の範囲を読み理解を進めておく。 事後課題:授業内容を復習し理解を深める
		各コマにおける授業予定	「健やかに老い、安らかに永眠する」を支える看護		
第8回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標		テキスト② 配布資料	事前課題:テキスト第VI章. の範囲を読み理解を進めておく。 事後課題:授業内容を復習し理解を深める
		各コマにおける授業予定	高齢者の健康生活の支援		
第9回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回	演習 実習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回	演習 実習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			